

**平成30年度「福井ふるさと元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果**  
(平成31年3月末現在)

「福井ふるさと元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成30年4月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成31年3月

土木部長 大槻 英治

項 目	実 施 結 果
<p><b>1 美しい県土、楽しく便利なまちの形成</b></p> <p>◇高速交通ネットワークの簡潔促進 【部局連携】</p> <p>○中部縦貫自動車道の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大野油坂道路については、北陸新幹線敦賀開業に合わせた全線開通を国に強く要請します。</li> <li>・大野油坂道路の大野東～和泉間については、全4本のトンネルのうち、着手済みの荒島第2トンネル(仮称)をはじめ3本のトンネル工事の推進と、和泉トンネル(仮称)工事の着手を国に要請し、早期整備を目指します。</li> <li>・大野油坂道路の和泉～油坂間については、着手済みの新長野トンネル(仮称)工事の推進と、川合トンネル(仮称)および大谷トンネル(仮称)工事の着手を国に要請し、早期整備を目指します。</li> <li>・大野油坂道路の大野～大野東間については、取得率が約3割となっている用地取得を更に進め、早期の工事着手を国に要請します。</li> </ul>	<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <hr/> <p>北陸新幹線敦賀開業に合わせた全線開通を岐阜県、長野県、沿線市町、県議会とともに国に強く要請しました。</p> <p>国において、1月に和泉トンネル(仮称)の工事に着手し、荒島第2トンネル(仮称)をはじめ全4本のトンネルで工事が進められています。</p> <p>国において、10月に川合トンネル(仮称)、1月に大谷トンネル(仮称)の工事に着手し、新長野トンネル(仮称)をはじめ3本のトンネルで工事が進められています。 区間内の用地取得が完了しました。</p> <p>用地取得を進め、取得率が約9割となりました。また、早期の工事着手を国に強く要請しました。</p>
<p>○若狭さとうみハイウェイの機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞鶴西～敦賀間については、事故による通行止めの状況を踏まえた重要な区間への付加車線の設置等を国と高速道路株式会社に要請し、早期の4車線化を目指します。</li> </ul>	<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <hr/> <p>6月の大阪北部地震で広域的な迂回ルートとして機能したことを踏まえ、付加車線設置を含めた早期4車線化を京都府、沿線市町、県議会とともに国と高速道路株式会社に要請し、3月に舞鶴東～小浜西間のうち、2区間(計12km)が実施箇所として選定されました。</p>

項目	実施結果
<p>・時間短縮効果などの利便性向上について、県内外のイベントにおける情報発信や関係団体への働きかけを行い、若狭さとうみハイウェイの利活用促進を図ります。</p>	<p>県内外のイベントにおいて時間短縮効果などの利便性向上の情報発信や関係団体への働きかけを行い、道路利用者に対して利活用促進の働きかけを行いました。</p> <p>開通後4年目（平成29年8月～平成30年7月）の小浜インターチェンジ～敦賀ジャンクション間の1日当たり平均交通量が約7,100台となり、1年目に比べ約9%増加しました。</p>
<p>◇道路・港湾の重点整備と利用促進 【部局連携】</p> <p>○主要道路・県境道路の整備</p> <p>・県民の安全と利便性、地元や市町の協力体制なども考慮し、優先度をつけて計画的に整備を進め、国体・障スポ競技会場へのアクセス道路などを供用します。</p> <p>（平成29年度 累計8箇所）</p> <p style="text-align: center;"><b>主要道路・県境道路の整備 7箇所増 累計15箇所</b></p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>30年度供用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道8号（福井バイパス） L=5.4km （あわら市笹岡～坂井市丸岡町玄女）</li> <li>・国道416号（大日峠道路） L=3.8km （勝山市横倉～県境）</li> <li>・国道476号（西部アクセス道路） L=0.7km （大野市城町～犬山）</li> <li>・国道476号（持越バイパス） L=1.0km （池田町持越）</li> <li>・芦原丸岡線 L=1.1km （あわら市田中々～重義）</li> <li>・丸岡川西線（布施田橋） L=1.7km （坂井市春江町布施田新～福井市布施田町）</li> <li>・武生米ノ線 L=1.9km （越前市小野町～勝蓮花町）</li> </ul> </div> <p>・福井港丸岡インター連絡道路については、工事に向けた用地取得を進めます。</p> <p>・北陸新幹線と一体的に整備する福井森田丸岡線については、新九頭竜橋の上部工を進めます。</p> <p>・北陸新幹線の南越駅（仮称）と国道8号を、敦賀駅と国道8号バイパスをそれぞれ結ぶアクセス道路については、用地取得および工事を進めます。</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>国道416号（大日峠道路）など7箇所を供用しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>主要道路・県境道路の整備 7箇所増 累計15箇所</b></p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>30年度供用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道8号（福井バイパス） L=5.4km （あわら市笹岡～坂井市丸岡町玄女） 9月1日供用</li> <li>・国道416号（大日峠道路） L=3.8km （勝山市横倉～県境） 9月9日供用</li> <li>・国道476号（西部アクセス道路） L=0.7km （大野市城町～犬山） 9月2日供用</li> <li>・国道476号（持越バイパス） L=1.0km （池田町持越） 9月24日供用</li> <li>・芦原丸岡線 L=1.1km （あわら市田中々～重義） 4月28日供用</li> <li>・丸岡川西線（布施田橋） L=1.7km （坂井市春江町布施田新～福井市布施田町） 9月16日供用</li> <li>・武生米ノ線 L=1.9km （越前市小野町～勝蓮花町） 8月11日供用</li> </ul> </div> <p>用地取得を着実に進め、取得率が予定どおり約5割となりました。</p> <p>10月に福井市街地側の新九頭竜橋の上部工に着手しました。残る福井市森田地区側についても新幹線橋りょうの上部工の完成後に、速やかに着手します。</p> <p>南越駅（仮称）と国道8号を結ぶ道路については、用地取得を概ね完了し、道路の盛土工事が完成しました。</p> <p>敦賀駅と国道8号を結ぶ道路については、10月に橋梁の下部工に着手するとともに、用地取得を着実に進めています。</p>

項目	実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在2車線となっている福井・石川県境の国道8号石川県加賀市熊坂町～あわら市笹岡間8.7kmについては、4車線化を石川県と協力して国に要請し、早期着手を目指します。また、国道8号福井バイパスのあわら市笹岡～坂井市丸岡町玄女間については、全区間において工事を促進し、国体・障スポまでの一日も早い供用を目指します。</li> <li>・国道8号南越前町～敦賀市間については、特に対策が急がれる区間（敦賀市挙野～田結間）の早期の工事着手を国に要請し、早期整備を目指します。</li> <li>・県境道路である国道417号冠山峠道路については、岐阜県とともに工事促進を国に要請し、北陸新幹線敦賀開業に合わせた開通を目指します。</li> </ul>	<p>福井・石川県境については、4車線化の早期着手をあわら市と加賀市を中心に設立された期成同盟会とともに、また、石川県と合同で国に強く要請した結果、新規事業化が決定しました。</p> <p>福井バイパスについては、沿線市とともに国に強く要請し、国体・障スポ開会前の9月に供用されました。引き続き、4車線での早期完成を国に要請していきます。</p> <p>国において、今年度事業化された敦賀防災（敦賀市挙野～田結間）の工事着手に向け、測量・設計が進められています。残る区間（南越前町大谷～敦賀市田結間）の事業化を、沿線市町とともに国に強く要請しました。</p> <p>国において、福井県側は、県境の第2トンネル（4.8km）の掘削工事、岐阜県側は、第2トンネルまでの明かり部の工事が進められています。2022年度末までの完成を岐阜県や沿線市町とともに国に強く要請しました。</p>
<p><b>○敦賀港・福井港の機能強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敦賀港では、鞠山南地区国際物流ターミナルの機能を強化するため、国の岸壁整備スケジュールに合わせた埋立工事を進めます。</li> <li>・九頭竜川からの流入土砂対策として福井港北防砂堤の整備を進めます。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>国において、岸壁ケーソンブロックの製作が進められるとともに、第2次補正により据付の予算が確保されました。新幹線工事の建設発生土を16万m<sup>3</sup>活用し、埋立工事を実施しました。（進捗率44%）</p> <p>防砂堤の延伸工事を50m実施しました。</p>
<p><b>◇電車・バス・自転車の利活用拡大</b> <b>【部局連携】</b></p> <p><b>○福鉄・えち鉄の高機能化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・えちぜん鉄道については、6月24日に高架線路での運行を開始し、その後、残る福井口踏切の線路撤去や交差道路の整備を進めます。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>6月24日に高架線路での運行を開始し、同日に福井口踏切を廃止しました。残る交差道路（松本通り）の整備を行い、東西交通の円滑化を進めます。</p>
<p><b>○サイクリングコースの計画的整備・延伸</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光拠点や眺望ポイントをめぐる道路に自転車マークなどの路面標示を行い、サイクリングコースのネットワーク化を進めます。（平成29年度 累計262km）</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>サイクリングコースの整備 20km増 累計282km</b></p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>小浜大飯高浜自転車道から三方五湖サイクリングコースを結ぶ国道162号に自転車マークなどの路面標示を行い、サイクリングコースのネットワークを拡大しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>サイクリングコースの整備 20km増 累計282km</b></p>

項目	実施結果
<p>2 原子力・エネルギーの確かな将来展望と地域振興</p> <p>◇「安全最優先」の原子力行政</p> <p>【部局連携】</p> <p>○原子力災害制圧道路等の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>竹波立石縄間線（敦賀市立石～敦賀原発0.6km）、音海中津海線（高浜町音海～小黒飯1.6km）、佐田竹波敦賀線（美浜町佐田～菅浜2.1km）の供用を目指します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>12月に竹波立石縄間線（敦賀市立石～敦賀原発0.6km）、3月に音海中津海線（高浜町音海～小黒飯1.6km）、佐田竹波敦賀線（美浜町佐田～菅浜2.1km）を供用しました。</p>
<p>3 日本一の安全・安心（治安充実から治安万全へ）</p> <p>◇あらゆる災害対応を迅速第一</p> <p>【部局連携】</p> <p>○除雪対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年2月の豪雪を踏まえて、記録的な豪雪に対応するための課題を整理し、道路雪対策基本計画の見直しを進めます。</li> <li>除排雪機械の増強や、国等関係機関のカメラ画像を「雪みち情報ネットふくい」において提供するなど、県管理道路の除雪対策および情報提供の強化を進めます。</li> <li>国、高速道路株式会社等の関係機関の連携強化による、除排雪機械等の機動力の増強や広域的な迂回路の確保等を国へ要請するとともに、冬期の交通確保対策のための会議や現地での想定訓練などを通して、幹線道路の除雪対策の強化を求めています。</li> <li>緊急医療施設周辺道路、最重点除雪路線、緊急輸送道路などについて順次消雪施設を整備します。 （平成29年度 累計357km）</li> </ul> <p style="text-align: center;">消雪施設の整備 4km増 累計361km</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>10月に「今後の大雪に対する対策【平成30年2月豪雪】」を発表し、これに基づき、昼夜間除雪の実施や最重点除雪路線の見直しなど、道路雪対策基本計画を11月に策定しました。</p> <p>ロータリ除雪車を11台増やすなど除雪機械を増強するとともに、483台の車道用の除雪機械に新たにGPSを搭載し、事前排雪や集中除雪を行う体制を整備しました。 県の道路状況確認カメラを50箇所増やし、「雪みち情報ネットふくい」において県警や国等のカメラを含む179箇所の画像に加え、交通規制状況および排雪場の情報提供を新たに開始しました。</p> <p>「国道8号冬期道路交通確保対策会議」の取組を踏まえ、国は国道8号の除雪機械26台を51台に増強、NEXCOは14梯団を30梯団に増強するとともに、監視カメラ、融雪装置の増設、車両待避スペースの設置等の具体的対策が実施されました。さらに、民間企業等の協力を得て、車両待避スペースの確保を進めました。 10月に石川県境において両県、近畿・北陸地方整備局など関係機関によるタイムラインに基づく雪害対応合同訓練を実施し、情報共有の確認を行いました。</p> <p>最重点除雪路線の丸岡インター線（坂井市丸岡町猪爪0.6km）など、計7路線に消雪施設を整備しました。</p> <p style="text-align: center;">消雪施設の整備 4km増 累計361km</p>

項目	実施結果
<p>○インフラ施設の長寿命化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な点検結果に基づき橋梁、トンネル、ダム、河川の排水機場、砂防施設、下水道施設、港湾施設などの維持・補修を行い、長寿命化対策を進めます。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>早期に補修が必要と判断された、橋梁22橋、トンネル33箇所、ダムの管理設備4箇所、河川の排水機場6施設、下水道施設1箇所、港湾の係留施設等6箇所などの維持・補修を実施しました。</p> <p>インフラ施設長寿命化計画の策定、見直しを完了しました。</p>
<p>○足羽川ダムの建設促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>足羽川ダムについては、仮排水路トンネル工事を進め、早期にダム本体工事に着工するよう国に強く要請し、平成38年度（2026年度）の完成を目指します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>国において、仮排水路トンネルなどの工事が進められています。</p> <p>2026年度の完成に向け、ダム本体工事の早期着手を国に強く要請しました。</p>
<p>○河川の災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河内川ダムについては、ダム管理設備の整備を進め、試験湛水を行います。</li> <li>吉野瀬川ダムについては、付替えの必要な県道武生米ノ線を完成し、仮排水路トンネル工事に着手します。</li> <li>浸水被害が発生した河川、想定氾濫区域内に家屋が集中している河川などを重点的に整備します。 (平成29年度 累計3,750m)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>河川の重点的整備</b> 900m増 累計4,650m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>迅速な住民避難につながる情報提供を行うため、洪水により甚大な浸水被害が生じるおそれのある河川に監視カメラを増設するとともに、洪水時のみの観測に特化した簡易な水位計の設置を進めます。 (平成29年度 累計23箇所)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>監視カメラの増設</b> 2箇所増 累計25箇所</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>供用開始に向け、ダム管理設備の整備を完了し、12月から試験湛水を始め、3月に終了しました。</p> <p>8月にダム建設に伴う付替県道武生米ノ線を供用し、2月に仮排水路トンネル工事に着手しました。</p> <p>竹田川（坂井市）、兵庫川（坂井市）、吉野瀬川（越前市）などにおいて、河道掘削や護岸整備などを重点的に進めました。</p> <p style="text-align: center;"><b>河川の重点的整備</b> 1,070m増 累計 4,820m</p> <p>日野川（南越前町）および遠敷川（小浜市）に河川監視カメラを設置しました。</p> <p>市役所・役場、学校、福祉施設、避難所など重要な施設や住宅密集地が浸水するおそれがある16箇所に洪水時の水位観測に特化した水位計（危機管理型水位計）を設置しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>監視カメラの増設</b> 2箇所増 累計25箇所</p>

項 目	実 施 結 果
<p><b>○土砂・雪崩災害対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度の台風の影響などで発生した土砂崩れや、豪雪による大規模な雪崩災害に対して、復旧工事を進めます。</li> <li>土砂災害警戒区域において土砂災害から保全する地区を増やすため、砂防堰堤、急傾斜地崩壊対策施設などの整備を進めます。 (平成29年度 累計982地区)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>土砂災害対策施設の整備 6地区増 累計988地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>迅速な住民避難につなげるため、市町と連携し土砂災害を想定した避難訓練を継続して実施します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>平成29年度に発生した土砂崩れや雪崩災害等の被災箇所166箇所のうち、平成29年度に6箇所、平成30年度に155箇所の復旧工事を完了しました。 平成30年度に発生した土砂災害等の被災箇所は、全箇所での災害査定を受け、68箇所のうち、20箇所の復旧工事を完了しました。</p> <p>八坂川(越前町)など4地区に砂防堰堤を、久々子地区(美浜町)など2地区に急傾斜地崩壊対策施設を整備しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>土砂災害対策施設の整備 6地区増 累計 988地区</b></p> <p>土砂災害を想定した避難訓練を福井市など12市町において実施し、防災への意識向上につなげました。</p>
<p><b>○空き家対策の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中古住宅の流通を促進するため、ふくい空き家情報バンクへの登録を促します。 (平成29年度新規登録 204戸)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>ふくい空き家情報バンクへの登録 210戸</b></p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>空き家所有者に対して空き家情報バンクの登録を呼びかけるよう、全市町や宅建協会などの不動産関係3団体に対して働きかけを行うとともに、文書により協力を要請しました。 県民や事業者向けの講習会において、空き家情報バンクのPRを3回実施しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>ふくい空き家情報バンクへの登録 225戸</b></p>
<p><b>◇「安全・安心ふくい」確立プラン 【部局連携】</b></p> <p><b>○通学路や高齢者の安全確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車利用者や歩行者の安全を確保するため、市町の教育委員会や警察署と協議し、自転車安心通行帯の整備を進めます。 (平成29年度 累計24km)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>自転車安心通行帯の整備 6km増 累計30km</b></p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>教育委員会や警察署との協議結果に基づき、勝山停車場線(勝山市)や松島若葉線(敦賀市)など5路線に自転車安心通行帯を整備しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>自転車安心通行帯の整備 6km増 累計30km</b></p>

項目	実施結果
<p><b>4 人口減少に歯止めをかける徹底戦略</b></p> <p>◇日本一の「結婚・子育て応援社会」 【部局連携】</p> <p>○ふくいの住まい総合支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者の定住、子育て世帯の住環境向上、多世帯の同居・近居に必要となる一戸建て住宅の購入、リフォーム工事への助成を行います。 (平成29年度 154戸)</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>住宅の購入、リフォーム工事への助成 130戸</b></p>	<p>[成果等] 目標を上回って達成しました。</p> <p>市町と協力して、県外からの移住者7戸、子育て世帯21戸、多世帯同居48戸、多世帯近居79戸を対象に、一戸建て住宅の購入やリフォーム工事への助成を行いました。</p> <p style="text-align: right;"><b>住宅の購入、リフォーム工事への助成 155戸</b></p>
<p><b>5 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に</b></p> <p>◇景観を県民資産に【部局連携】</p> <p>○「わがまち景観」の保全・継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路周辺の景観を改善するため、道路標識柱等の集約化を行うとともに、標識の撤去を進めます。 (平成29年度 累計54箇所)</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>道路標識等の集約化・撤去 16箇所増 累計70箇所</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国体・障スポの開催や北陸新幹線の県内開業に向け、観光地や街並みなどの良好な景観づくりを推進するため、屋外広告物条例等の改正により基準に適合しなくなった広告物について、国体・障スポまでの支援制度の活用を促すなど、さらに丁寧な説明を行うことにより、広告主や広告事業者による撤去・改修を進めます (平成29年度 累計249件)</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>屋外広告物の撤去・改修 351件増 累計600件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者、自転車利用者が多く、十分な滞留スペースがない福井市のまちなかの交差点において、角地の空き地を休憩場所などの快適な空間として有効に活用します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>国道416号(永平寺町)などにある6箇所の道路標識を撤去するとともに、道路標識の集約化により福井今立線(福井市)などにある11箇所の道路標識柱を撤去しました。</p> <p style="text-align: right;"><b>道路標識等の集約化・撤去 17箇所増 累計71箇所</b></p> <p>広告主や広告業者に対し訪問や文書送付により改善依頼を行い、改正条例等の基準に適合していない広告物が、184件撤去、77件改修されました。</p> <p>一部の広告業者などから強い存置要望があり、改善件数が目標に至りませんでした。</p> <p>今後も引き続き、市町とともに、屋外広告物の撤去・改修を進めます。</p> <p style="text-align: right;"><b>屋外広告物の撤去・改修 261件増 累計510件</b></p> <p>福井市において、交差点角地の空き地1箇所を確保し、歩行者、自転車利用者の滞留スペースとして活用しました。</p>

項目	実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸新幹線の県内開業に向け、都市緑化の意識高揚を図り、県下全域で花や緑があふれる美しいまちづくりを推進するため、全国「みどりの愛護」のつどいの平成32年度（2020年度）開催を目指して誘致を進めます。</li> <li>足羽川において水辺に親しむイベント、川遊び、釣り体験などの親水活動の定着を図るとともに、史実に近い和船による毛矢の操舟体験を実施します。 (平成29年度参加者 7,100人)</li> </ul>	<p>9月に国に対して福井市と連名で開催申請を行った結果、2020年春に福井県で開催することが決定しました。今後、大会の成功に向け、式典内容の検討などの準備を進めます。</p> <p>5月から10月の花火大会や国体などのイベントに合わせて「毛矢の操舟体験」を実施し、852人の参加がありました。また、Eボート川下りや魚釣り体験教室など水辺に親しむイベントを開催し、4,300人の参加がありました。</p> <p>大型イベントが複数回（例年、合計3,000人が参加）悪天候等により実施することができず、参加者数が目標にいたりませんでした。</p> <p>引き続き、親水活動の定着を図るイベントを実施します。</p>
<p style="text-align: center;"><b>足羽川での親水イベント参加者</b> 7,200人</p>	<p style="text-align: center;"><b>足羽川での親水イベント参加者</b> 5,100人</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸新幹線等大型工事により生じる建設発生土の搬出入状況の確認を行うとともに、想定している土量、土質、時期などの変更に対応した需給調整を行い、土砂採取による山の切り崩しを抑制し景観を保全します。</li> </ul>	<p>鉄道・運輸機構、国土交通省、県および市町をメンバーとした「建設発生土利用促進委員会」を2回（7月、1月）開催し、北陸新幹線など大型工事により生じる、今年度の建設発生土（110万m<sup>3</sup>）の需給調整を行いました。</p> <p>主なものとして、北陸新幹線新北陸トンネル工事の掘削土（40万m<sup>3</sup>）の活用については、敦賀港鞠山南地区のふ頭用地の埋立工事（16万m<sup>3</sup>）、コンクリート骨材（10万m<sup>3</sup>）等に活用しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>国体・障スポに向け、競技会場やアクセス道路周辺、鉄道から見える河川において、伐木、浚渫を重点的に実施するとともに、浚渫土砂の工事間流用や土質改良を行い、有効活用を図ります。 (平成29年度 河川の伐木15.5km 河川の浚渫 4.8万m<sup>3</sup>)</li> </ul>	<p>九頭竜川（勝山市、永平寺町）や日野川（鯖江市、越前市、南越前町）などにおいて伐木を実施しました。</p> <p>河川に堆積した土砂5.0万m<sup>3</sup>を浚渫し、そのうち2.7万m<sup>3</sup>を道路盛土材などに活用しました。</p>
<p style="text-align: center;"><b>河川の伐木</b> 16km</p>	<p style="text-align: center;"><b>河川の伐木</b> 16.9km</p>
<p style="text-align: center;"><b>河川の浚渫</b> 4.8万m<sup>3</sup></p>	<p style="text-align: center;"><b>河川の浚渫</b> 5.0万m<sup>3</sup></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>国体・障スポに向け、競技会場やアクセス道路において、植樹柵の修繕や舗装補修等を行うとともに、地域住民や企業等との共働により、道路の除草や植栽を行う道守活動を推進します。 (平成29年度 81団体)</li> </ul>	<p>競技会場へのアクセス道路などにおいて、植樹柵の修繕や舗装補修等を行うとともに、沿線の自治会に働きかけを行い、道守活動を推進しました。</p>
<p style="text-align: center;"><b>道守活動団体</b> 85団体</p>	<p style="text-align: center;"><b>道守活動団体</b> 86団体</p>



項目	実施結果
<p>○無電柱化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観の向上や防災の観点から、電力事業者や通信事業者の理解を得ながら、電線の地中化などによる無電柱化を進めます。</li> </ul> <p>(平成29年度 累計19.2km)</p> <p style="text-align: center;">無電柱化 1.0km増 累計20.2km</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>国道364号(永平寺町)などで計1.0kmの無電柱化を実施しました。</p> <p style="text-align: center;">無電柱化 1.0km増 累計20.2km</p>
<p>○三里浜緑地の利活用推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近に緑豊かな自然を楽しめるよう、樹林地内の下草刈りや枝打ちにより緑地内の見通しをよくするなどの環境改善を行い、地域住民等に親しまれ、利用しやすい環境づくりを進めます。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>緑地の中央付近において、下草刈りや枝打ちなどを約30ha実施し、見通しの改善を進めました。環境学習の一環として、1月に県立大学の教職員・学生による枝打ちなどの体験会を実施しました。</p>
<p>6 福井から人材育成</p> <p>◇産業人材の育成・誘致システム</p> <p>○防災意識の向上と建設業における将来の担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災意識の向上のため、住民を対象とした土砂災害講習会や小学生を対象とした防災出前授業を開催します。</li> <li>・建設業に対する関心を高め、インフラ整備・保全の重要性の啓発を図るため、建設業と共働し、将来の担い手となる学生向けの現場説明会や出前授業を開催します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>住民対象の土砂災害講習会を、昨年度の倍となる10箇所で開催しました。また、小学生対象の防災出前授業を25校において開催し、3校(勝山市、永平寺町、若狭町)では現場見学会をあわせて実施しました。</p> <p>将来の担い手となる小・中・高校生を対象として、河内川ダムや新九頭竜橋などの工事現場で建設業者とともに説明会を開催(33回、962名)し、さらに小学校での防災出前授業の中でインフラ整備・保全等の重要性の啓発を図りました。</p>
<p>7 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略</p> <p>◇観光フロンティア・福井【部局連携】</p> <p>○100万人観光地の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「道の駅」については、大野市の「結の故郷(仮称)」および勝山市の「恐竜渓谷ジオパーク(仮称)」の造成工事に着手します。また、越前市の「道の駅」については、用地取得を進めます。<b>チャレンジ施策</b></li> <li>・「道の駅」をより魅力的な観光や地域振興の拠点とするため、スタンプラリーの実施や「道の駅」が共同で開催するイベントへの支援等を行い、利用客の拡大を図ります。</li> </ul> <p>(平成29年 460万人)</p> <p style="text-align: center;">「道の駅」の利用客 460万人</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>大野市および勝山市の「道の駅」は、造成工事を実施しました。越前市の「道の駅」は、地権者との交渉を重ね、用地取得を進めています。</p> <p>豪雪の影響により1～3月に利用客が減少(前年比約10万人減)しましたが、県内の「道の駅」を紹介したガイドブックの作成・配布(4万部)、スタンプラリーの実施、国体・障スポ開催期間中の「はぴりゅう広場」における道の駅共同イベントの支援など、「道の駅」の利用促進を図りました。</p> <p style="text-align: center;">「道の駅」の利用客 460万人(見込み)</p>

**【実施結果の区分】**

- ・目標を上回って達成しました。(例: 成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例: 成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例: 成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例: 成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例: 成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)